

第9回通常総会開催

NPO 法人こころん第9回通常総会が5月29日、生活支援センターこころん交流室で開催されました。平成21年度の事業内容と収支決算の報告、平成22年度の事業計画と収支予算を検討する今後の社会福祉法人への移行などが議題にあがりました。

関元行理事長は開会の言葉で、「100名を超える利用者への一層のサービス向上実現に向け現在、社会福祉法人設立への具体的な手続きを続けている。NPO 法人解散の時期が当初予定より遅れているが、できるだけ早急に実現させたい」と挨拶しました。

事務局からは、「前年度は、就労移行支援の一環として、養鶏を営む矢部農場の運営をこころんが引継ぐなど、農業分野への活動をより活発化させた」と報告し、今後の抱負について「矢部農場の卵を利用し菓子類などの加工品をつくるなど、『生産・加工・販売』という一連のなかに働く場所の確保していきたい」と語りました。

今後の展望としては、「加工施設の設立」や「作業スペース、事務所の増築」などの事業を展開する上で、この移行実現が期待されるそうです。(たか澤。)



寄付・寄贈をいただいた方 (敬称省略・順不同)

相原和子 成澤綾子 鈴木サダ子 翼会家族教室
鈴木泰子 相原 茂 萩原貞之

お知らせ

活動報告

5月21日 地域清掃活動
5月25日 就業セミナー(履歴書作成)
5月29日 こころん第9回定期総会
6月4・5日 国際医療福祉大学と交流会
6月26日 こころや初夏の感謝祭
7月7～9日 JAICA 研修生実習
7月22・23日 施設交流旅行・南会津町
7月27日 就業セミナー(模擬面接)
8月7～14日 こころや花市・桃まつり
9月17日 地域清掃活動
9月19～23日 こころや彼岸セール
9月21日 就業セミナー(施設見学)
9月28日 レクレーション・ボーリング

行事予定

10月17日 第6回こころんまつり
会場：泉崎村保健福祉総合センター
10月26日 就業セミナー
11月18日 地域清掃活動
11月20・21日 こころんチャリティ
アート展
12月 クリスマス会

こころんチャリティ アート展

平成22年
11月20日(土)・21日(日)
* 出品者・ボランティア募集中!

..... 編集後記

第6回こころんまつりをいよいよ開催いたします。

昨年10月、はじめてメンバーが実行委員長に選出され、みんなで企画・準備したまつりが諸事情により中止という苦渋の決断してから1年。

会場や企画も再検討し、メンバーの発表と音楽を中心とした内容へと一新しました。

新生こころんまつりを、ぜひご覧下さい。ご来場をお待ちしております。(植木)

こころん通信

第23号

平成22年10月5日発行
発行者：NPO法人こころん
〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9
TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063
MAIL: kokoron@r2.dion.ne.jp
ホームページ <http://www.cocoron.or.jp>

施設交流旅行 南会津で藍染体験!

毎年恒例の施設交流会旅行に、7月22日から1泊2日で行ってきました。宿泊地は「南会津町会津山村道場 山荘ななみね」で、参加者はスタッフを含め30名です。



初日は終日、会津山村道場内の施設で活動。到着後「ハッピーサークル」「のぎくの会」の皆さんと一緒に「古民家れすとらん山王茶屋」で美味しいカレーライスを堪能し、食後は「染家」でハンカチの藍染体験。「白色の布のたたみ方と輪ゴム縛り方が染め方のポイント。輪ゴムの縛った部分が藍に染まらず白く残り模様となります」との指導員の説明後、各自製作を開始。

きちんとたたむ人もいれば、ランダムに輪ゴムをかける人もおり、それぞれ思い思い、自由に布を縛りあげます。次に藍玉の入った壺にそれをつけ込み水で洗う作業を2回繰り返した後、輪ゴムを外して外に干し、これで作業は一段落。完成した藍染ハンカチを広げ「世界で一枚だけ」の作品をお互いに披露しあい、皆は満足げに笑顔を見せ合いました。



さらに「奥会津博物館」見学後に「泉の馬宿」で開かれた交流会の中で、それぞれの施設の利用者たちは「博物館で南会津町の歴史に触れることができ、良い体験ができた」「藍染体験できれいな青色に染まった自分のオリジナルのハンカチを作ることができて楽しかった」などと語りました。

南会津町のみなさん、大変お世話になりました。また、お会いしましょう。

10月17日(日) 第6回こころんまつり開催!

目次

P1・・・施設旅行・南会津町
P2・5 第6回こころんまつりのご案内
P3・・・みんなの広場
P4・・・マカオのカリタス／こころや研修旅行
P6・・・総会報告／行事予定

こころんまつり

ぜひぜひ
ご来場ください



同日開催

直・加 ころや
秋の収穫感謝祭
本日18時まで営業

コンテナ市
とれたて野菜がたくさん!

カフェ限定メニュー
秋野菜たっぷりカレー
温玉きつねうどん・そば

10月17日(日)、泉崎村保健福祉総合センターで、第6回こころんまつりを開催します。
メンバーが企画段階から主体的に関わり、「自分たちのまつり」を作りあげようと取り組んでいます。
私たち障がい者が、地域で普通に生活できるような、心のバリアフリーをめざしています。
ぜひ、私たちのことを知ってもらいたいと思いますので、ひご来場下さいますようお願いいたします。

第6回こころんまつり 実行委員長 栗原 真

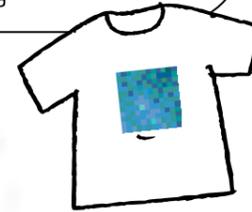
まつり・エコプロジェクト

古切手、空き缶の回収をします。ぜひ会場にお持ちください。

会場・ころや間の送迎車を運行します

自主制作作品販売コーナー

ミサンガ、デコパージュ、エコクラフトバッグ、そのほか施設で制作した手芸品を販売します。
大好評!こころんオリジナルTシャツ第2弾も発売します。お楽しみに!
出店: 地域生活支援センターきらり、こころん手作り工房



送迎バス
停留所

喫煙所

古切手・空き缶
回収所

本部
受付



お茶会

毎月2回活動している、こころん茶道倶楽部がお茶会を開催します。
和室でゆっくり、庭でのんびり。ぜひお立ち寄りください。



模擬店コーナー

「なごみの家」の名物コロッケほか、美味しい物いろいろ。
福島県南地域の障がい者施設や泉崎村地元団体が出店します。



- なごみの家共同作業所 (コロッケ、おこわ)
- 生活支援センターこころん (ジュース)
- 泉崎村障害者支援センター (焼き鳥)
- 大信やまゆり (フランクフルト、野菜、菓子)
- 結工房・あゆり工房 (キャラメルポップコーン、綿あめ、べっこうあめ、自主制作品)
- 地域サポートセンター エル白河・ひまわりキッズ (パン)
- おらが村の特産品: 愛郷やき (おやき)
- 泉崎村商工会青年部 (豚汁)
- 三部焼きそば隊 (焼きそば)

夢を語る

こころんのメンバーが、仕事?恋愛? それぞれの夢を語ります。
みんなの拍手で大賞を決定!
ぜひみんなの声を聞いて下さい。



こころん音楽の祭典

矢吹町出身のシンガー・TUSUYOSHIさんが、ギターデュオM2として来場!
星野孝行さんのコーナーでは、歌あり笑いあり!
みんなを音楽の世界へと誘います。

ステージ

- 10:00 開会式
- 10:25 ざころろんず (バンド)
- 10:45 夢を語る
こころんの七不思議
- 12:20 フリータイム
- 13:00 **特別ゲスト** こころん音楽の祭典
M2(エムツー:ギターデュオ)
(佐藤 毅 Vo.G、三塚 良 G)
トーク&ライブ 星野孝行
- 14:45 フィナーレ●みんなで歌おう!
- 15:00 閉会式

ざころろんず

こころんのメンバーを中心としたバンドの第3期。
今年は何んな曲を聴かせてくれるかな?



こころんの七不思議

「ひとつ、ふたつ、みっつ・・・やっぱりひとつ足りない・・・」
なごみの家で、毎朝ひとつ足りなくなるものは何か?
こころんの各施設の秘密が、解き明かされる!

マカオのカリタス、こころんを訪問

9月29日、マカオで高齢者 障害者 ホームレスなどを支援する「カリタス（澳門明愛）」の関係者 19 名と、通訳として同行した日本障害者リハビリテーション協会の上野悦子さんがこころんを訪問。カリタスはマカオに 30 の施設があり、今回の来日は上野さんと、カリタスの幹事であり香港リハビリテーション協会にも所属するポールさんとの交流がきっかけでした。



この日は午前中、泉崎村カントリービレッジでお互いの活動を紹介しあった後こころんへ移動し、利用者たちによるエコバック制作の様子やグループホームこころんハウスを視察。次に直売・カフェこころやで昼食と買い物をすませ、午後は矢吹の蔵元 大木代吉本店で酒蔵見学と交流会が開かれました。



交流会の中で「こころんの」地域に根ざしながら利用者とスタッフが区別なく活動している姿に感銘を受けた。しかしマカオでは障がい者との間には孤立感があり、例えば一緒に食事をするだけで周囲から見下される傾向がある」と話すポールさんに対し、こころんスタッフの一人は「日本でも以前はそうだった。世の中や社会を変えることも私たちの活動目的のひとつである」と話しました。

カリタスの皆さんの予定は10月2日まで日本に滞在し、東京で開催される国際福祉のイベントに参加後、帰途につくとの事でした。

このごろの

直売 カフェ
こころや

このコーナーでは、こころんが運営する職業訓練施設「直売 カフェ こころや」の最近の様子をお伝えします。

こころや初秋の旅・いわき

9月27日(月)～28日(火)の臨時休業を利用して、こころやスタッフ・メンバー総勢17人で、いわきに研修旅行に行ってきました。こころや開業4年目にして、初めての施設旅行でしたので、みなさん終日ワクワクでした。

1日目は遠野キャンプ場にお昼ぐらいいに到着、皆思い思いに焼肉、焼きそば、スイカなどを食べました。

つぎに、いわき石炭・化石館・ほるるに行きました。いろいろな化石が展示してあり、また当時の炭鉱の造りも素晴らしく、まさに黒いダイヤと言われた、昭和の模様を復元してありました。

今回の宿、太平洋に面している新舞子ハイツに着いたのが4時過ぎでした。宴会では、一人一人今後の抱負が語られ、「いまのこころやで満足です」「お菓子工場に期待しています」「ぜひA型事業所に」など、個々のこころやに対する思いがありました。

2日目は、まずアクアマリンに行きました。ここでも普段見ることがなかなか難しい魚を見ることが出来ました。感動したのは、人が通れるトンネルです。4方が水槽なので、まるで海のなかにいるような感じでした。

最後の研修施設・障がい者施設・スペースけやきにはお昼前に到着しました。施設長からあいさつと施設の説明があり、普段宅配されているお弁当をおいしくいただきました。後から施設長にお話しを伺ったところ「一日200件の宅配があります。現在利用者は54人です。宅配の他、多くの施設で働いています」とのことでした。

けやきの輪ゴム詰め施設で働いている20歳の女性は、「輪ゴムを箱に詰める作業はむずかしいです。でも、みんなとおしゃべりできたり、一緒に仕事出来るのがうれしいです。なにより、相談に乗ってもらえることがありがたいです」と笑顔で話していました。

また、けやきの豆腐販売所にも行ってみました。ここは18人の利用者と5人のスタッフでやっています。「1日300～500丁作っています。一般家庭のほか、イトーヨーカドーやマルトさんに卸しています」と話しておりました。

スペースけやきを後にして、いわきの研修旅行は無事終わり、我々はこころやに向かいました。帰りは皆ぐったりした様子でした。(栄)



みんなのひろば

こころんってこんなところ★ボランティア活動の巻

生活支援センターこころんでは5月から11月まで、奇数月の第3金曜日に地域の清掃活動を行っています。

施設のある泉崎村になにか役立つことをしようと考え、施設が開所した平成16年から7年間、こころんの利用者が地域のみなさん、毎回約20名が参加しており、今年は鳥峠入口付近(八丸芦の口線)をゴミ拾いをしています。

こころんでは、この清掃活動に参加してくださるボランティアを募集しています。興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。



ちょっとお知らせ・裏山プロジェクトより

2月に生活支援センターこころんの隣にビニールハウスが完成しました。この夏は、ビニールハウスでの農作業が本格始動！ベビーマーファから始めて、トマトや茄子、空芯菜などにもチャレンジしました。

高温の日が続いた時もみんなでハウス内の温度計に注意を払いながら、換気や冠水を行い、作物を大事に育てました。

ビニールハウスのお陰で雨天でも毎日作業ができるようになり、こころん裏山プロジェクト(外作業チーム)の活動の幅も広がりました。

今後は、ブルーベリーの生育が期待され、実がつき、それをどう加工するかを楽しみにしています。



裏磐梯を満喫！



6月のレクリエーションは、「宝の山を登る」と題して、裏磐梯へ行ってきました。

今回はなんと、磐梯山山頂を目指す登山コースと、五色沼散策コースの2本だて。欲張りな自分は両方行きたい！でも選べるのはひとつだけ(当然か)。う～ん迷う。

「山に登れば五色沼も見えるよ！」と聞いて、欲張り男が選んだのは登山コース。

山登りの初心者なりに登山装備を考えて参加。当日は登山用ステッキを借りて、気分はすでにアルピニスト。

前日の雨は上がり清々しく晴れ、登山には最高の日でした。五色沼も綺麗に見え、その隣には松原湖が広がっていました。

ああ～大自然。空気も上手けりゃ山で食べるおにぎりも又格別。心癒された反面、日頃の運動不足が……それは別として、なんだかんだ言いながらも、毎回レクを楽しみにしている僕です。(Koji)